

小学校低学年	テーマ	命の芽生え		
	ねらい	身のまわりの小さな命に気づき、自らの命の誕生について関心を持つ。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物や植物にも「いのち」があることを体験をとおして実感させる。 発芽や卵の孵化、昆虫の羽化する様子を詳しく観察し、命の誕生とつながりの不思議さを感じとらせる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験をとおして、小さな「いのち」に気づかせる。 家族の話聞き、自分の誕生時の家族の喜びに気づかせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動植物の「いのち」にふれさせ、生きていくすべてのものへの思いやりの心を育てる。 自分が誕生したときの家族の喜びを実感させる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 散策場所の選択、事前散策、安全確認をしておく。 「自分が生まれたときの話」「自分の名前の由来」等について、保護者へ依頼する。 教員自身の「生まれたときの話」をまとめておく。 子どもの家庭環境を把握し、個々の子どもへの配慮など事前事後の指導を充実させる。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語 生活 道徳 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物とのふれあいの経験を持つ。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生まれたときのエピソード」について事前に依頼しておく（学級通信等） おんぶや抱っこなどのスキンシップを多くしてもらう。 	<p>フィールドワーク「いのち発見」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然散策しながら小動物や植物の小さな命の芽生えを発見する。 うさぎを抱っこし、体の温かさを感じとる。 聴診器を木の幹にあて、木が水を吸い上げる音を聞く。 <p>動植物の飼育栽培・観察</p> <p>友だちや先生とのふれあい</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちや先生と握手をしたり、自分の体を触ってみて、体の温かさや心臓の鼓動を感じる。 <p>『心のノート』の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いのちにふれよう」 <p>絵本の読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ふゆめがっしょうだん』 『たんぼぼ』 『ざりがに』 『赤ちゃんのはなし』 (以上、福音館書店) <p>家族の話</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が生まれたときの話 自分の名前の由来 	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> うさぎやにわとり、あさがおもみんな生きているんだ。 うさぎってあったかいんだなあ。 ぼくのしんぞうがドキドキしてるよ。 わたしが生まれたときにそんなことがあったんだ。 わたしが生まれたとき家族はこんなに喜んだんだ。 ふれあって、気持ちいい。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の感想も書き入れた動植物の観察日記を書く。 授業後の感想や家族からの話を聞いて自分が思ったことを手紙などで家族に伝える。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験内容や活動場所は適切であったか。 身近な「いのち」に気づかせることができたか。 子どもが、自分の誕生について関心を持ち家族の喜びを感じることができたか。 子どもの家庭状況に応じた個別支援ができたか。